

モモ・ウメ・スモモ・サクラを枯らす害虫

特定外来生物

クビアカツヤカミキリ 見つけたら すぐ連絡を!

触覚は体長と同じくらいの長さ。
オスは体長より長い。



体長 2.5 ~ 4.0 cm

胸部
(クビ)が
赤い

ツヤのある黒色

独特の強い臭いを出す!

特定外来生物・クビアカツヤカミキリが、モモ・ウメ・スモモ・サクラなどに卵を産み付け、幼虫は樹の内部を食い荒らし、枯れる被害が発生しています。このままでは桃の産地がつぶれてしまいます。

クビアカツヤカミキリの成虫、フラス（フンや木くずが混ざったもの）を見つけたら、すぐに通報してください。



うどん状のフラス



株元に積もった粉状のフラス



樹の中の幼虫

成虫やフラスを見つけたら、
電話、メール、LINE 等でご連絡ください。

- 発見した日時、場所、状況をお知らせください。
- 可能であれば、写真を撮ってください。
- 成虫を捕まえた場合は、殺処分してください。
(生きたまま持ち運ぶと違法となります。)
- 死んでいる個体でも連絡してください。



農地の場合 ▶▶

農業水産振興課

0736-61-0025

森林の場合 ▶▶

林務課

0736-61-0015

庭・公園の場合 ▶▶

衛生環境課

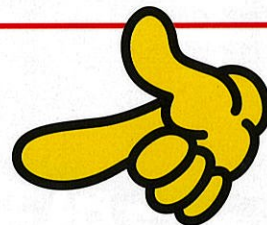
0736-61-0048



みんなでモモの産地を守ろう!



クビアカツヤカミキリは、 移動や飼ったりできません。



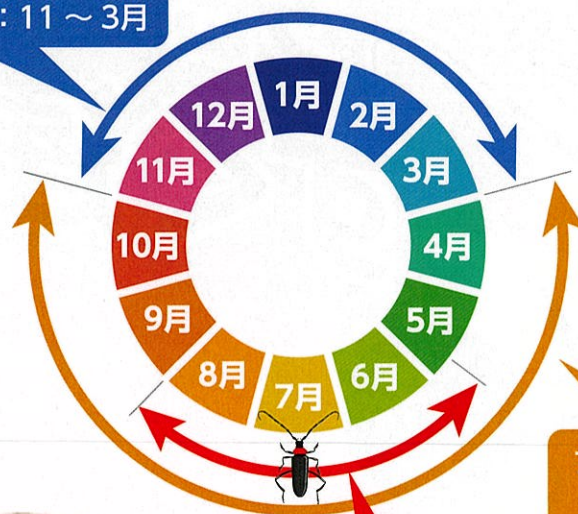
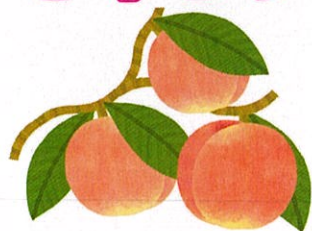
原産地は中国、朝鮮半島、ベトナムなどです。

クビアカツヤカミキリは、特定外来生物に指定されているため、捕まえて生きたまま移動させたり、飼ったりすることは禁止されています。違反した場合は罰則があります。ご注意ください。

クビアカツヤカミキリの1年

活動を休止する時期：11～3月

桃の産地 を守ろう！



フラス(フンや木くずが混ざったもの)が出る時期：4～10月



交尾した後、飛び回って
幹や主枝の割れ目に産卵します。

ふ化した幼虫は樹の内部に
入り込んでいきます。

樹の中でさなぎから
成虫になり出て来る時期
：5月下旬～8月
(成虫の寿命は1ヶ月程度)



成虫の「脱出口」



樹の内部を食べる幼虫

幼虫は樹を食いあらし
2～3年かけて成長し、
さなぎになります。

防除や伐採時の留意点など詳しい情報



クビアカツヤカミキリは特定外来生物に指定され、生きたままの運搬や飼育、販売等が禁止されています。違反した場合は罰則があります。詳細は、左のコード先をご覧ください(環境省 Web サイト)。

和歌山県の被害状況など詳しい情報

和歌山県におけるクビアカツヤカミキリの詳細な情報は、右のコード先の「クビアカツヤカミキリの侵入防止及び防除対策」をご覧ください(和歌山県 Web サイト)。



お問合せ先 / 那賀振興局農業水産振興課 TEL : 0736-61-0025

e1302911@pref.wakayama.lg.jp